Tour Taiwan 旅行台湾・感動100

特集・台湾

台湾がさらに身近に 羽田線、花博で活気

羽田空港と台北（松山）空港の定期便就航、台北花博の開幕などを契機とした訪台日本人旅行者の誘致拡大が期待されている。台湾観光局は今年、「旅行台湾・感動100」をスローガンに掲げ、旅行者の誘致に成果を上げてきた。日本との関係では、今年から2カ年を台日観光交流年として相互交流を推進している。来年は民国100年という節目の年。さまざまな祝賀行事や観光キャンペーンを計画する台湾の観光業界にとって、新路線就航や大型イベント開催は追い風だ。

羽田～台北線が就航

1日8便 選択肢広がる

羽田空港の国際線ターミナル、新滑走路の開業に伴う国際化で、今月31日、羽田空港～台北（松山）空港線に定期便が就航した。松山空港は台北市中心部に位置し、観光やビジネスでの利便性が高い。日本航空（JAL）、全日本空輸（ANA）、チャイナエアライン、エバー航空がそれぞれ毎日2往復する。羽田発着の台湾行き旅行商品が各社からラインナップされ、市場を活気づかせている。

台北（松山）空港は、主要ホテルや商業施設が集中するエリアにMRT（地下鉄）や車で10～20分程度で移動できるのが最大の利点。成田空港との間を就航している桃園空港（台北）からは、台北中心部まで高速バスで40分ほどかかるため、移動時間を短縮したい旅行者には台北（松山）空港は便利だ。

日台双方の航空4社が10月31日、それぞれ1日2便の運航をスタートさせた。旅行会社からは、「羽田から行く台湾」などの商品が発売され、堅調な日本人の訪台観光をさらに活性化させている。多くの日本人旅行者に親しまれている海外旅行先、台湾がより身近に感じられるようになった。

羽田発には早朝便もあり、観光やビジネスのスケジュールづくりに幅が広がった。羽田発で最も早い午前7時発の便を持つチャイナエアラインは、往復航空券の購入者に駐車場クーポン券やタクシークーポン券をプレゼントするキャンペーンを展開している。日帰りで帰国することも不可能ではなく、商談などのビジネス需要も掘り起こせそうだ。

航空会社各社が羽田国際化に合わせたキャンペーンを展開している。エバー航空では、羽田～台北（松山）就航記念として、関係路線の搭乗客に無料航空券をプレゼントするキャンペーンを年末まで実施している。

一方、チャイナエアラインが成田空港と高雄空港間に新規路線を就航。10月31日から週3便を運航している。

運航スケジュール

羽田→台北（松山）

便名	出発時間	到着時間
CI223	07：00	09：45
JL031	08：10	11：15
NH1185	09：40	12：45
BR189	10：45	13：30
BR191	12：15	15：00
NH1187	12：40	15：45
CI221	14：15	17：15
JL039	17：55	21：00

※CI223の火・金・日曜は到着10：00

台北（松山）→羽田

便名	出発時間	到着時間
BR192	07：30	11：15
CI220	09：15	12：55
JL030	10：00	13：45
NH1186	13：45	17：40
JL032	15：15	19：00
BR190	16：00	19：50
NH1188	16：45	20：40
CI222	18：15	21：55

※CI：チャイナエアライン、BR：エバー航空、JL：日本航空、NH：全日本空輸

台北松山空港が国際化 ターミナルを改修中

台北（松山）空港は、羽田空港と同様に、国際空港として再スタートを切った。桃園空港の開港（1979年）以来、国内空港として利用されてきたが、近年では中国への直行便も就航し利用客が増加。羽田線の開設でさらなる活用が期待されている。

台北（松山）空港は今年4月にオープン60周年を迎えた。利用客数は桃園空港の開港、台湾高速鉄道の開通などで減少傾向にあったが、中国便の就航で活気づき、利用客が再び増加に転じている。

羽田線開設に先立ち、今年6月14日には中国・上海中心部に位置する虹橋空港との間に直行便が就航している。韓国のソウル中心部にある金浦空港線の就航も期待されており、台北（松山）、羽田、上海虹橋、ソウル金浦の移動が便利になる可能性もありそうだ。

台北（松山）空港の国際線は、改修工事を進めている第2ターミナルが完成する来年秋までは、国内線と同じ第1ターミナルを利用。現在は通関や搭乗ゲートが国内線と隣り合わせになっている。

空港へのアクセスでは、台北（松山）空港には台北MRTの内湖線が乗り入れている。

10月の訪台日本人 8％増の9万5千人

台湾観光局

台湾観光局はこのほど、今年10月の訪台外国人旅行者数を発表した。このうち日本人旅行者数は、前年同月比8・2％増の9万5172人だった。1～10月累計でも前年同期比6・5％増の88万5420人。前年には日本国内での新型インフルエンザの発生などの影響を受けたが、今年は月別で2、9月以外は前年同月の実績を上回っている。

訪台外国人旅行者数の全体では、10月が32・0％増の48万5959人、1～10月累計が27・5％増の450万7685人だった。大陸からの中国人観光客の急増により大幅な伸びを示している。

一方、台湾からの訪日旅行者数も10月が18・8％増の12万290人と好調に推移している。

台北花博スタート 半年間の花の祭典

2010臺北國際花卉博覽會 TAIPEI INT'L FLORA EXPO

にぎわう台北花博の会場

台北市を会場とする台北国際花博覧会（台北花博）が11月6日に開幕した。国際園芸家協会が認定する国際的な花と園芸の祭典で、開催期間は来年4月25日までの約半年間。約3300種、3千万株を超える花々や木々が台北の街を彩り、工夫をこらした展示と6千回以上のイベントで来場者を楽しませる。期間中の来場者数は台湾内外から800万人を見込む。

花博はアジアで4番目、アジアの都市としては7番目の開催。海外からの観光客に、台湾の園芸や文化の魅力、先端技術や環境保護への取り組みを発信する機会であると同時に、来年の民国100周年を祝うイベントでもある。

会場は、円山公園、美術公園、新生公園、大佳河浜公園の4エリアで構成。14のパビリオンを設置。会場の総面積は91・8㌶、このうち緑化面積は70・9㌶を占める。オランダやアメリカ、ギリシア、フィリピン、オマーンなど31カ国、59都市、86団体が参加している。

会期中には、さまざまな花や園芸が観賞できる。特にランは台湾が世界的に著名な産地であることなどから、約1千品種を展示。樹齢800年以上の盆栽25鉢をはじめ台湾が誇る盆栽文化も紹介している。

多彩なイベント、最新の映像技術などを駆使した展示手法、環境に配慮した施設や設備も見所となっている。

華やかなパレード ガイドロボも登場

台北花博の注目イベント

来場者数は11月13日現在、32万3499人。1日当たりでは最大7万人超が来場した。人気のパビリオンは、流行館（円山公園エリア）、夢想館（新生公園エリア）、養生館（同）などとなっている。

幸福毛毛蟲大パレード（会場・大佳河浜公園エリア）＝台湾で有名な児童劇団「紙風車」が出演する。会期中の毎週土・日曜の午後3時から花きカーニバル大道東側で華やかなパレードを披露する。花博のイメージキャラクター「花の妖精」なども登場する。

ジミー動画（会場・新生公園エリア夢想館）＝世界的に著名な台湾の絵本作家のジミー氏の動画「世界の片隅に」が上映される。かわいらしいキャラクターが登場し、子どもたちの人気を集めそうだ。

花神（会場・円山公園エリア文化館）＝「花神」が舞い降りる情景を描き、伝統の神輿のパレードを再現。文化の創意と生命力を表現する。

香草寶貝機器人（会場・美術公園エリア舞蝶館）＝花博のガイドロボット「香草寶貝（ハーブちゃん）」に会える。会期中の毎日、午前11時と午後3時半に来場者と交流。握手をはじめさまざまな動作が可能でダンスも披露する。

◇台北花博の最新情報、チケット情報はウエブサイト（http://www.2010taipeiexpo.tw/、日本語ページあり）まで。

台湾観光トピックス

台湾ランタンフェスティバル 苗栗で2月17日から

旧暦の新年に初めて満月の夜を迎える「元宵節」（旧暦1月15日）に提灯を灯す風習にちなんだ大型観光イベント、台湾観光局主催の「台湾ランタンフェスティバル2011」が来年2月17～28日、苗栗県の苗栗竹南頭份運動公園で開かれる。12日間の期間中の来場者は500万人を見込んでいる。

来年は民国100年を迎える記念の年であることから、干支の「卯」にちなみ、「玉兎呈祥」（兎が吉祥をもたらす）をテーマに幸福と豊穣を祈るメッセージを込めてデザインした大型の兎のメーンランタンを設置し、各種のランタンとともに広大な会場を光で彩る。伝統舞踊や電飾のパレードも行う予定。

2月16日には開幕前夜点燈式が午後6時30分から、2月17日には開幕アトラクションが午後4時30分から、開幕点燈セレモニーが午後7時から。2月28日は閉幕セレモニーが午後10時30分からの予定。

会場の苗栗県は台湾北西部に位置し、北側を新竹県、南側を台中県に接している。台北市からはバスや鉄道で1時間半ほど。木彫り工芸が盛んな三義、豊かな自然に囲まれた泰安温泉、台湾の鉄道で最も高い標高に位置する勝興駅、5月ごろに白い花を咲かせて「五月雪」と称されるアブラギリの花祭りなどが有名。漢民族から古くに分枝し独自の文化を持つ「客家」（ハッカ）の人々が多く暮らす地域としても知られる。

元宵節には、台湾各地でさまざまな祭りやイベントが開かれ、幻想的な光が人々を楽しませる。台北県平渓の国際天燈祭り、台南県武廟の塩水爆竹祭りなども多くの来場者を集める。

昨年のランタンフェスティバル（嘉義市）

地方再編、直轄市5都市に 高雄は市と県 合併

台湾では地方自治体の再編が行われ、今年12月25日、日本の政令都市に相当する「行政院直轄市」が現行の台北市と高雄市の2都市から5都市に増える。

台北市は変わらないが、台北県が「新北市」に、高雄市と高雄県が合併して「高雄市」に、台中市と台中県が合併して「台中市」に、台南市と台南県が合併して「台南市」になる。

再編に伴い人口の約6割を5都市で占める。県下にあった市や鎮、郷などは区制が施行される予定で、住所なども同様に変更される。

新たな直轄市の登場により、観光行政の広域化や受け入れ態勢の整備、誘客活動の強化などが図られ、観光振興につながると期待が大きい。

温泉・美食PR 18地域でフェア

台湾温泉美食カーニバルが開幕、各地の温泉郷18エリアで約4カ月間にわたり開催される。心身を癒す温泉とグルメを合わせた誘客フェアなどで旅行者をもてなす。

台北の新北投温泉区では10月29日に開幕。中部の谷関温泉でも温泉美食カーニバルのプログラムの一環で、11月13、20、27日、12月3日に谷関温泉文化会館広場で、先住民族舞踊などのイベントの開催が予定されている。

台湾では、台北市の北投温泉、陽明山温泉、台南県の関子嶺温泉、屏東県の四重渓温泉が4大名湯と言われる。多種多様な台湾ならではの新施設が各地に登場し、日本と似て非なる温泉浴を満喫できる。

加賀屋が北投進出 年内に本格開業へ

台北市の北投温泉に日本の人気旅館、加賀屋（石川・和倉温泉）が「日勝生加賀屋北投」を開業する。グランドオープンは2010年12月18日を予定している。

加賀屋北投は、地下4階、地上14階の建物で、男女別大浴場のほか、17の個室浴場、エステを兼ね備え、個人風呂を好む滞在客にも対応。客室は90室。日本と同様に1泊2食のプランで販売を開始する。

加賀屋北投は台北市北投区光明路236号。ウエブサイト（http://www.kagaya.com.tw/）も開設している。

台北MRT

蘆州線が11駅開通 花博開幕に合わせ

台北MRT蘆洲線が11月3日、台北花博の開幕に合わせて正式に開通した。蘆洲線の全長12・5キロ、11駅（台北市6駅、台北県5駅）がある新路線で、台北市中山区、大同区エリアの交通や経済に多大な効果をもたらすと期待されている。

蘆洲線は台北市内が忠孝新生駅（南港線乗換駅）、松江南京駅、行天宮駅、中山国小駅、民権西路駅（淡水線乗換駅）、大橋頭駅、そして台北県内が三重国小駅、三和国中駅、徐匯中学駅、三民高中駅、蘆洲駅。

同線の開通後、台北MRTの路線網は合計で105キロとなる。

台湾観光局

夜市のクーポン 旅行者に贈呈

台湾観光局は、台湾を訪れる日本人旅行者にプレゼントや特典を提供する「旅行台湾・感動100ウエルカムプレゼントキャンペーン」の今年第4期の配布を始めた。今期は人気の夜市で利用できるクーポン券を希望者に贈呈する。

配布する「夜市美食クーポン」は、台湾観光局が実施した特選夜市コンテストで入選した指定夜市の利用券。1人当たり100元分を利用でき、夜市のグルメを楽しんでもらう。問い合わせは、台湾観光協会の東京事務所、大阪事務所まで。

台湾2011年祝日一覧

1月1日	開国記念日	国定の休日は1日。
2月3日	春節	旧正月元旦。3大節句の中で最も華やか。正月休暇として大型連休になる（連休は2～7日）
2月28日	和平紀念日	平和を祈願し、99年より祝日に制定
4月4日	児童節	
4月5日	清明節	祖先の墓掃除などを行う
6月6日	端午節	各地でドラゴンボートレースが開かれる。3大節句の1つ
9月12日	中秋節	満月を楽しみ、一家で団らん。市場には月餅や柚子が並ぶ。3大節句の1つ
10月10日	国慶節	台湾を挙げて慶祝式典やパレードがある

■祝祭日以外の記念日■

元宵節2月17日（旧暦1月15日）、婦幼節3月8日、青年節3月29日、労働節5月1日、鉄道節6月9日、中元節8月14日（旧暦7月15日）、軍人節9月3日、孔子誕生記念日（教師節）9月28日、光復節10月25日、蒋前総統誕生記念日10月31日、国父誕生記念日（中華文化復興節）11月12日、憲法記念日12月25日ほか

台湾では上記以外にも記念日やイベント、各寺廟や先住民族などの伝統祭りや行事が一年を通じて各地で多数開催される

※祝祭日は2010年10月25日現在。関係機関の都合により急遽追加・変更されることもある。（春節、端午節、中秋節などは旧暦によるため、毎年日程が変更される）

2010-2011 台日観光交流年 TAIWAN-JAPAN Tourism Exchange Year

台湾観光局
http://jp.taiwan.net.tw

台湾観光協会

東京事務所
〒105―0003
東京都港区西新橋1丁目5―8川手ビル3F
電話03・3501・3591
FAX03・3501・3586

大阪事務所
〒530―0047
大阪府大阪市北区西天満4―14―3―6F
電話06・6316・7491
FAX06・6316・7398